



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 ワタベウェディング株式会社

コード番号 4696 URL <http://www.watabe-wedding.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 花房 伸晃

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 平木 親臣

TEL 075-352-4111

四半期報告書提出予定日 平成26年8月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	11,127	△9.5	△210	—	△185	—	△65	—
26年3月期第1四半期	12,297	△3.6	△193	—	△254	—	△210	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △173百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 79百万円 (△74.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△6.57	—
26年3月期第1四半期	△21.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	23,009	11,750	50.9
26年3月期	23,739	11,989	50.3

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 11,710百万円 26年3月期 11,951百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	0.00	15.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 平成27年3月期の期末配当予想額は未定としております。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	48,800	2.3	500	—	500	—	200	—	20.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

なお、当ブライダル業界は婚礼の施行時期に季節的変動があり、当社は業績管理を年次で行っていることから、第2四半期連結累計期間については業績予想の開示を行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	9,909,400 株	26年3月期	9,909,400 株
27年3月期1Q	326 株	26年3月期	326 株
27年3月期1Q	9,909,074 株	26年3月期1Q	9,909,074 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、「リゾート挙式」におきましては、平成26年5月に立川店を、6月には熊本店、高崎店のオープンや大阪グランドプラザのリニューアルオープンを行い、リゾートマーケットの拡大と集客力強化に取り組んでまいりました。成長戦略であるアジアマーケットにおきましては、リゾート挙式において、お客様のニーズに合わせた商品を提案することにより、堅調に推移いたしました。しかしながら、リゾート挙式全体におきましては、競争激化のため、前期までに獲得した当期施行分の挙式予約組数を落としたことが影響し、前年同四半期に比べて挙式取扱組数が減少する結果となりました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、ハウス型挙式事業に特化した株式会社クレッシェンドプロデュースを立ち上げ、営業体制の強化を図ってまいりました。しかしながら、首都圏において競合各社の新規婚礼施設が相次いでオープンしたこと等の影響により、挙式取扱組数は、前年同四半期に比べて減少いたしました。

以上の結果、当社グループの業績は、売上高11,127百万円（前年同四半期比9.5%減）、営業損失210百万円（前年同四半期 営業損失193百万円）、経常損失185百万円（同 経常損失254百万円）、四半期純損失65百万円（同四半期純損失210百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

## ① リゾート挙式

挙式取扱組数は減少し、売上高は4,619百万円（前年同四半期比5.3%減）となりましたが、人員効率の向上等に努めた結果、セグメント損失は47百万円（前年同四半期 セグメント損失440百万円）となりました。

## ② ホテル・国内挙式

景気回復による宿泊の増加はありましたが、競合増加等により挙式取扱組数が減少し、売上高は6,507百万円（前年同四半期比12.3%減）、セグメント損失は174百万円（前年同四半期 セグメント利益241百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ846百万円減少し、9,659百万円となりました。これは主に現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ117百万円増加し、13,350百万円となりました。これは主に差入保証金が増加したことによるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ729百万円減少し、23,009百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ420百万円減少し、8,388百万円となりました。これは主に賞与引当金、買掛金、未払法人税等の減少によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ70百万円減少し、2,870百万円となりました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ491百万円減少し、11,258百万円となりました。

純資産残高は前連結会計年度末に比べ238百万円減少し、11,750百万円となりました。これは為替換算調整勘定の減少105百万円及び四半期純損失65百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成26年5月13日発表の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が64百万円増加し、利益剰余金が64百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響は軽微です。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,267	5,495
売掛金	1,785	1,861
商品及び製品	230	224
仕掛品	20	19
原材料及び貯蔵品	608	545
その他	1,636	1,552
貸倒引当金	△42	△40
流動資産合計	10,505	9,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,335	4,245
土地	2,271	2,272
その他(純額)	1,384	1,439
有形固定資産合計	7,992	7,957
無形固定資産	854	800
投資その他の資産		
差入保証金	2,980	3,093
その他	1,436	1,529
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	4,386	4,593
固定資産合計	13,233	13,350
資産合計	23,739	23,009
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,813	1,606
短期借入金	1,325	1,625
前受金	2,322	2,378
賞与引当金	487	199
資産除去債務	437	232
その他	2,422	2,345
流動負債合計	8,809	8,388
固定負債		
長期借入金	1,075	875
退職給付に係る負債	913	1,006
資産除去債務	442	494
その他	510	494
固定負債合計	2,940	2,870
負債合計	11,750	11,258

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	4,344	4,214
自己株式	△0	△0
株主資本合計	12,558	12,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35	43
繰延ヘッジ損益	9	△7
土地再評価差額金	△921	△921
為替換算調整勘定	416	311
退職給付に係る調整累計額	△147	△143
その他の包括利益累計額合計	△606	△717
少数株主持分	37	40
純資産合計	11,989	11,750
負債純資産合計	23,739	23,009

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	12,297	11,127
売上原価	4,301	4,004
売上総利益	7,995	7,122
販売費及び一般管理費	8,188	7,333
営業損失(△)	△193	△210
営業外収益		
受取賃貸料	14	15
その他	21	27
営業外収益合計	35	42
営業外費用		
支払利息	4	2
賃貸費用	4	3
為替差損	19	-
開業費	42	-
その他	25	11
営業外費用合計	96	18
経常損失(△)	△254	△185
特別損失		
固定資産除売却損	3	2
減損損失	28	-
施設店舗整理損	22	-
特別損失合計	54	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△308	△188
法人税等	△95	△125
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△213	△62
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3	2
四半期純損失(△)	△210	△65



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△213	△62
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	7
繰延ヘッジ損益	24	△17
為替換算調整勘定	271	△103
退職給付に係る調整額	-	4
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△1
その他の包括利益合計	292	△110
四半期包括利益	79	△173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77	△176
少数株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	4,880	7,416	12,297	—	12,297
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,667	42	1,709	(1,709)	—
計	6,548	7,458	14,007	(1,709)	12,297
セグメント利益又は損失 (△)	△440	241	△199	5	△193

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 5百万円には、セグメント間取引消去 9百万円、棚卸資産等の調整額 △3百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	4,619	6,507	11,127	—	11,127
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,562	32	1,594	(1,594)	—
計	6,182	6,540	12,722	(1,594)	11,127
セグメント損失(△)	△47	△174	△222	11	△210

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額 11百万円には、セグメント間取引消去 9百万円、棚卸資産等の調整額 1百万円が含まれております。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。